[新刊のご案内]

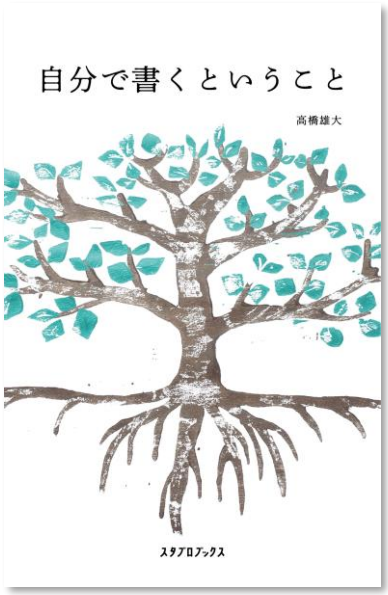
文芸エッセイ ／文章読本・出版　ご担当者さま

2026年7月19日発売

買い切り商品
JRC扱い

スタブロブックス

「本とは、樹木である」
AI時代に「自分で書く」意味を問う。
ひとり出版社の代表が贈る、書いて生きるためのインサイドストーリー。



自分で書くということ

高橋雄大著／B6判変形並製本／80頁／1,300円（税別）／ISBN978-4-910371-10-8

ライター25年、ブックライターとして70冊以上を手がけてきた経験をもとに書き上げました。

誰に何を伝えたいのか、自分は何をしたいのか。自らの思いの根を張り、「自分で書く」ことを通して人生を主体的に生きるために大切なこと――。

【本書の読みどころ】

本＝樹木：根（思い）を張るからこそ、幹（主題）が育ち、枝（章・節・項）が伸び、葉（言葉）が生い茂る。文章の技術以前に大切な「書くことの本質」について考えます。**身体性の価値**：AIには真似できない、自らの身体を現場に運んで得た「一次情報」の価値、そして紙の本が結ぶリアルなコミュニケーションの可能性を考えます。**実践と責任**：身銭を切り、リスクを負って地方でひとり出版社を営む著者だからこそ語れる、「自分で書く」ことを通して人生を主体的に生きるためのヒントを伝えます。

【こんな読者に届けたい一冊です】

- 本やZINEのつくり手、書くのが好きな方、出版の世界に興味のある方
- 情報に流されずに、自分の人生を主体的に生きたいと願うすべての方へ

【目次・構成】（要約版）

- 自分で書くということ
- それは、根を張るということ（何を伝えたいか／綴じる、という不可逆の覚悟）
- それは、考えるということ（書くことは、考えること／考える力点を考える）
- それは、走るということ（身体を使って一次情報を取る大切さ／手をつなぐ）
- それは、生きるということ（責任を果たす／志を立て、自分の人生を生きる）
- 【コラム】読まれる文章・わかりやすい文章を書くためのちょっとしたコツ

高橋雄大（たかはし・たけお ／本名：高橋武男）
1977年兵庫県加東市生まれ。
関西外国語大学卒業。コピーライター、書籍編集者を経て、2008 年にフリーランスの編集ライターとして独立。ビジネス書のブックライターとして70 冊以上の執筆を手がける。2014 年に加東市にＵターン移住し、以降、田舎と都会を往復しながらライター活動を継続。2020 年、スタブロブックス株式会社を設立。
著書に、『奇蹟のネジ』（発売元：幻冬舎）、『波の章』（高橋雄大名義、PHPエディターズ・グループ）など。

本書は「買い切り」商品です。返品は受け付けておりません。ご了承くださいませ。

ご注文はJRCへ ▶▶▶ FAX:03-3294-2177

（TEL:03-5283-2230）

貴店番線印	ご注文数	自分で書くということ 高橋雄大著	本体価格：本体1,300円＋税 ISBN978-4-910371-10-8　C0095 発売日：2026年7月19日 B6変形判並製本・80頁
ご担当者　　様	冊	発行　スタブロブックス 〒673-1446 兵庫県加東市上田603-2　電話:0795-20-6719	